

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム葉山苑天領の杜

作成日 令和5年12月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	本人がよりよく暮らす為の介護計画の為のチーム協働が不十分である。	ご本人、ご家族、全職員、全関係者をチームと考え、協働により、本人の意向に沿った暮らしができるよう努める。	サービス担当者会議の在り方を再検討し仕組化、プラン作成からモニタリングまでの一連の流れを定着させる。	1年間
2	19	十分にできている方とそうでない方が居られ、ご家族の状況によって差がある。	ご家族と事業所がお互いに気軽に相談でき、一緒に考え、支える関係性を構築する。	電話だけでなく、もっと手軽な連絡ツールを使用し、負担少なくやりとりできる環境を作る。また、連絡の際にはニーズについての取組状況やご本人の意向等を適宜お伝えする。	1年間
3	48	利用者の能力によって役割、楽しみごとの実施に差がある。	日常生活の中で、それぞれが、持っている力を生かして楽しみや役割を持ち、張り合いのある生活を送って頂く。	できないに関わらず、職員が共に行う事で役割を持ってもらい、利用者の自己重要感を高める。また、業務効率化を図りその為に職員が余裕をもってできる時間を作る。	1年間
4	40	日常的に食事を楽しみにしてもらえる工夫の取組が不十分。	行事食だけでなく、日常から食事に対する楽しみをもって頂き、意欲を高める。	日常的に共に食事作りに関わって頂いたり、今日の献立を標記して提供前から楽しみにして頂く。また、音楽や会話など環境づくりを工夫する。	1年間
5	54	利用者によって差があり、居室で過ごす時間が寝るだけの方も居られる。	自分の時間を確保し落ち着いた気持ちで過ごせるよう、生活歴を踏まえその人らしい居室を作る。	見る、聞く、考える等、思い出す等ができる音楽、写真、思い出の品等をご家族協力を得て居室に用意する。また、実際に利用者の目線で確認し、安全で快適かを確認する。	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。